

1on1の負担を減らし、質を高める

Kakeaiではじめる

# 1on1

テーマの選択

期待する対応の選択

サイコロトーク

自動文字起こし

1on1履歴

AIフィードバック



1on1をもっとうまく活用したいと  
感じたことはありませんか？

# 1on1がうまくいかない状態としては、 場当たりので、積み上がらない運用が原因です



## 部下

- 振り返るきっかけがなく、**話すことが思いつかない**。
- 目的が不明確で「何を言われるんだろう」と**心理的な負担**を感じてしまう。

## 共通の悩み

- 会話が「**形だけの進捗確認**」で終わってしまう。
- 対話がデータとして残らず、**日常の業務に活かさない**。



## 上司

- 部下が何を求めているか分からず、**準備が手探りになる**。
- 前回の内容を忘れ、**その場限りの会話**になってしまう。

# しかし、自力でその仕組みを整えるのは**非常に難しい**。

現場の「意識」や「努力」だけでは、これらの壁を越えることはできません。

## 「記憶」への過度な依存

- 個人の記憶やセンスに頼った運用になっている。
- 振り返る仕組みがなく、ネタ探しに限界がある。



## 「記録」の物理的限界

- 多忙な中、手作業で履歴を繋ぎ続けるのは困難。
- 記録が「点」で散逸し、継続的な支援ができない。



## 上下関係という「構造の壁」

- 上下関係がある以上、会話は自然と「報告」に偏る。
- 意識だけでは、構造的な心理的距離は埋められない。

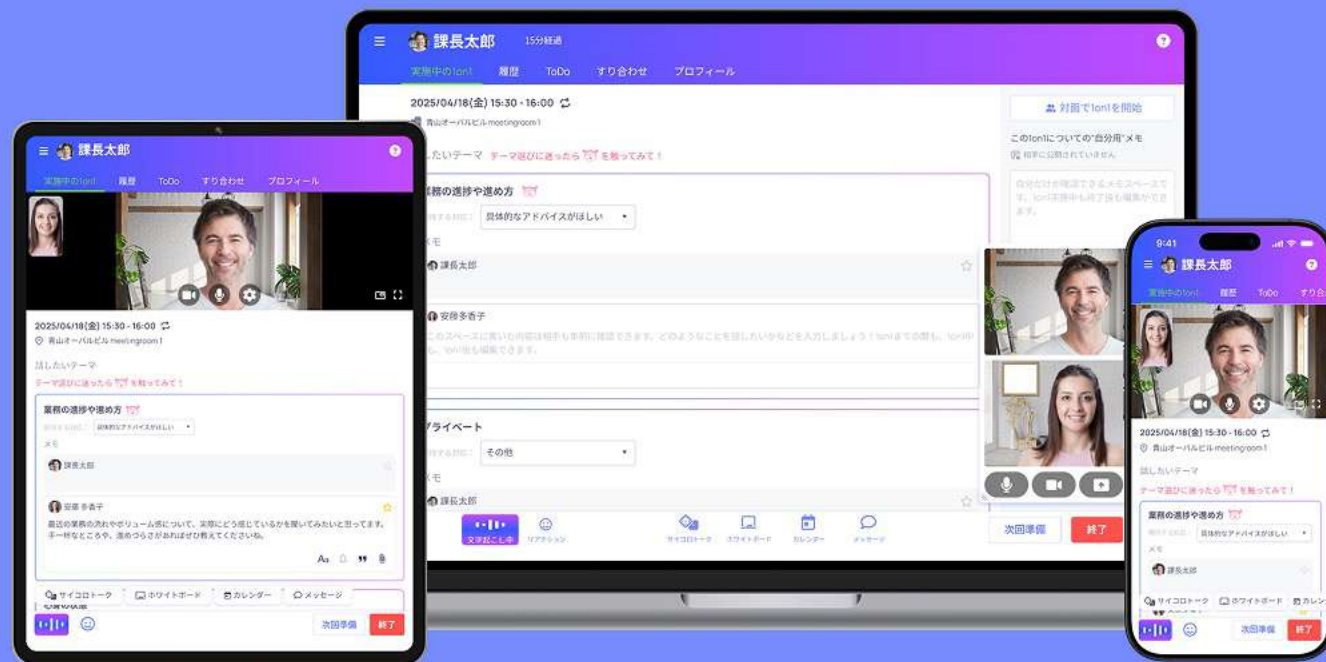


## 上司の改善のきっかけがない

- 自分の対話の傾向を客観的に把握できない。
- 相手の満足度が可視化されず、正しい接し方の正解がわからない



# これらの課題を Kakeaiが解決します



# 1on1の負担を減らし、質を高める1on1「支援ツール」

準備から振り返りまで、負担をテクノロジーで取り除き、対話の力を最大化します。

1

## 部下 事前準備

- 話したいテーマと上司に期待する対応を選択する。



2

## 上司・部下 1on1実施中

- お互いの期待が揃っているから、スムーズで納得感のある対話ができる。



1on1を  
起点とした  
日常の変化

3

## 上司 振り返り

- データやAIのヒントを参考に、部下への接し方やサポートの方法をより良くしていく。



## 日常の変化

対話を通じて相互理解が深まり、  
普段の業務がよりスムーズに回り出す。

準備は「考える」より「選ぶ」だけ。迷わず1分で対話の土台が整う

## 事前準備 話すテーマを「選ぶ」



部下

あらかじめ用意された選択肢から**話したいテーマを選ぶだけ**。毎回ゼロから考える必要がないから、時間が無いときでも**気軽に準備ができます**。



上司

事前にメンバーの『話したいテーマ』や『期待する対応』を確認できるから、**目的を持って1on1に臨める**。前置きを省略し、最初から本題に集中できます。

課長 太郎 ? ヘルプページ

今後の1on1 履歴 ToDo すり合わせ メッセージ プロフィール

2025/05/29(金) 15:30 - 16:00 編集

【meeting\_room1】 出入口に近い方 サンクレスト青山8階

話したいテーマ テーマ選びに迷ったら🐱を触ってみて!

- 業務の進捗や進め方 🐱
- 人間関係 🐱
- 心身の状態 🐱
- 今後のキャリア 🐱
- スキルや力の向上 🐱
- プライベート 🐱
- 会社や部署の方針 🐱

+ 他のテーマ作成

テーマをより具体的に。接し方にヒントを。迷いなく深まる1on1へ。

事前準備

## サブテーマを「選ぶ」、世の中のヒントを「参考にする」



部下

世の中の人が話している具体的なテーマ事例があることで、「**せっかくだったらこの話をしてみようかな**」という話すきっかけに繋がります。具体的なサブテーマが漠然とした思いや考えを言葉に変えてくれます。



上司

世の中のヒントを知ることで、**自信をもって1on1に臨むことができます**。多様な切り口が適切な「問いかけ」を助け、対話が途切れる迷いをなくします。

業務の進捗や進め方 ではみなさんこんなこと話してるそうですよ！

- 業務で得意/苦手なこと
- HOT 業務の次のステップや目標
- 自分なりの改善アイデア
- チームで成果を出せたこと
- HOT 挑戦してみたいこと
- チーム全体で改善したいこと
- 最近の学びと気づき
- 想定通りに進まなかったこと
- HOT 他部署・他チームとの連携で感じたこと
- 工夫したこと
- うまくいったこと
- その他

今後のキャリア ではみなさんこんなこと話してるそうですよ！

- HOT 入社時に思い描いたこと
- 将来してみたい仕事
- 今の仕事のやりがい
- 今の仕事で物足りないこと
- 今の仕事を選んだ理由
- 今の業務と将来のつながり
- 昇進・役職への気持ち
- 必要だと思うスキルや力
- キャリアのロールモデル
- 理想の働き方
- キャリアに対して不安なこと
- etc.

ヒント ?

今後キャリア × 一緒に考えてほしい

「とても得意」なテーマ×対応です。普段通りでのぞみましょう

メンバーからのヒント

える際に、今後成長する必要か/何を意識すべきしてもらおうといいです。と、メンバーは次の学び選びやすくなりますよ！

メンバーからのヒント

アドバイスの際に、依頼文の雛形を短く渡してもらえると、ゼロから悩む時間が減るため、そのまま展開しやすくなります。

マネジャーからのヒント

アドバイスをするとき、担当業務の手順を先に聞き取り現状の流れに沿って改善案を示すと、摩擦点が特定できるため、直せる箇所から着手しやすくなります。

他のヒントを見る

「接し方のズレ」をなくし、お互いに納得感のある対話をつくる

事前準備

## 期待する対応を「リクエストする」



部下

「今日は話を聞いてほしい」という対応を率直に伝えられます。**自分のニーズにあった関わりを上司にしてもらえる**ので、1on1が前向きな場になります。



上司

「アドバイスがほしい」のか「ただ聞いてほしい」のか、**期待されている対応を事前に確認することができます**。「期待する対応」があることで、**心構えができ、安心して当日を迎えられます**。

話したいテーマ テーマ選びに迷ったら👉を触ってみて！

業務の進捗や進め方 🗨️

期待する対応

具体的なアドバイスが欲しい  一緒に考えてほしい  話を聞いてほしい  意見を聞きたい  その他

報告したい  その他

👉 ヒント 世界のメンバーが投稿した、「このテーマの1on1は、これを意識したらうまくいった！」が確認できます

メモ

👤 安藤多香子 ☆

👤 課長太郎 ☆

最近の業務の流れやボリューム感について、実際にどう感じているかを聞いてみたいと思っています。手一杯なところや、進めづらさがあればぜひ教えてください。最近の業務の流れやボリューム感について、実際にどう感じているかを聞いてみたいと思っています。手一杯なところや、進めづらさがあればぜひ教えてください。

Aa 🔔 📎

人間関係 🗨️

心身の状態 🗨️

今後のキャリア 🗨️

スキルや力の向上 🗨️

相手との関係性に応じてテーマの深さを選べる

実施中

## サイコロトークで「本音」を引き出す場をつくる



部下

サイコロトークをきっかけにして、**お互いについて知ることができます**。上司との距離が近く感じられ、**業務以外の話も自然とすることができます**。



上司

サイコロトークが、話しやすい空気をつくり、業務中にはなかなか引き出せない**メンバーの内面や価値観を知るきっかけになります**。

「記録」に追われる時間を、「向き合う」時間へ

実施中

## 自動文字起こしで、対話に「集中する」



部下

上司が話を聞くことに集中してくれるので、**安心して話しやすいです**。対話の内容はデータで残るため、後から**自分で振り返る際も簡単です**。



上司

**自動文字起こし**のおかげで、部下の表情や話に集中できます。**要約機能**を使えば、忙しい中でも、**振り返りを簡単にすることができます**。

期待する対応： 具体的なアドバイスがほしい

文字起こし・AI要約 ① 設定

Powered by OpenAI

安藤多香子さんは、現在の業務が順調であることを報告し、仕事を楽しんでいると共有しました。全体的にみても、業務の進捗や職場環境に満足しており、仕事へのモチベーションが高いことが感じています。

次の要約まで約3分

... あなたのマイクを使って文字起こし中 ① 最新をみる

最小化 停止

× 文字起こし中

リアクション

サイコロトーク ホワイトボード

Powered by OpenAI

上記テキストを書き込むメモ欄を選択してください。

選択してください

メモ欄に挿入する

記憶の負担を解消し、蓄積された履歴で一貫した成長支援を可能に

実施中

## 履歴による、対話の継続性



部下

自分の話をしっかり覚えてもらえる。その実感が**安心感に繋がります**。対話を通じて得た気づきを日々の業務に落とし込み、**次の一歩へ繋がられます**。



上司

『前、何話したっけ?』という不安がなくなります。**履歴を振り返ることで会話の内容がぶれなくなり、メンバーからの信頼感が増したことを実感できます**。

04/10 10:30

 メモを編集する

課長 太郎

この1on1ダイジェスト

標準 文字起こしデータを確認する 最終更新者: 課長 太郎

フィードバックと感想

- 今年の業績が未達であることを認識。
- 昨年対比でギリギリ達成できた部分もあり、運が良かった。
- 管理職の取り組みが不足していると感じている。

会社のルールとお金の管理

- お金の管理や減価償却についての知識が必要。
- 労務管理やメンタルヘルスに関する適切な対応が求められる。

目標と予算

- 下期の目標設定についての相談。
- 全社広告費が3000万、WiMAXが1800万残っている。
- 広告費の使い道についての具体的な提案 (SEO再開、ビッグエリーの環境開発など)。

SEOと広告戦略

もっと見る

メンバーの実感が次の1on1に活きる。

振り返り

## 上司の改善のきっかけが得られる



部下

1on1後に感想を送れるので、その場で伝えきれなかった**気持ちを伝えられます**。感じたことを、伝えられたという安心感で**1on1に前向きに取り組めます**。



上司

メンバーからの『やる気が出た』『ほっとした』という感想や、AIによる客観的な振り返りが、**次回の対話をよりよくするためのヒントになります**。

The interface displays a survey form for 1on1 feedback. The form includes a title '1on1の感想と満足度を入力しましょう' and a progress indicator. Below the title, there are two main sections: '相手に感想を送りましょう!' and 'あとで回答'. The '相手に感想を送りましょう!' section contains several buttons for feedback, such as '自分のことや状況を知らしてもらえました', '相手のことや状況を知られました', 'すっきりしました', '分かりました', 'やる気が出ました', 'ほっとしました', '気づきがありました', 'よく考えてみます', '挑戦してみます', and 'もう一度会話したいです'. The 'あとで回答' section is currently empty. To the right of the form is a bubble chart titled 'テーマ別対応の傾向' (Trend of response by theme). The chart shows the percentage of members who selected each response option for five different themes: '具体的なアドバイス', '一緒に考えてほしい', '話を聞いてほしい', '意見を聞きたい', and '助言したい'. The chart uses colored bubbles to represent the data points. Below the chart, there are two AI-generated response cards. The first card is titled 'Good(良いところ!)' and contains the text: 'あなたの1on1は、メンバーが自らテーマを選択する機会をしっかりと提供しており、本当に素晴らしいです! まず、過去3ヶ月の1on1の中で、メンバーが自分のテーマを選ぶ割合が高いことは、彼らの主体性を育む大きな要... もっと見る'. The second card is titled 'More(より良くするためには?)' and contains the text: 'あなたはすでにとても素晴らしい1on1を実施していますが、さらに良くするために挙げるとすれば、期待する対応の選択を増やすことを意識することがポイントになりそうです! 現状では、期待する対応を選択する割合に... もっと見る'.

# Keaiで変わる、あなたの1on1

「個人の心掛け」から、システムが支える「心地よい習慣」へ

	従来の1on1 (Before)	Keai導入後 (After)
準備	「何話そう?」とネタ探しに15分。	事前準備はテーマを選択するだけ。 1分で完了
実施	評価を気にして「進捗報告」に終始。	今話したいこと、話すべきことに向き合える。
記録	メモを取るのに必死で、 相手の顔が見られない。	AIが自動記録。対話に集中できる。
継続	履歴が残らず「前回何話したっけ?」と 思い出すのが大変。	履歴が自動で残ることで、 対話の継続性が高まる。

# さあ、次の1on1からKakeaiを。

## まずは1分、テーマを選んでみましょう

